

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステップ		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月26日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月集団活動のプログラムを作成し、日々の活動内容がマンネリ化しないようにしている。	集団での活動ないでも一人一人の課題を設定し利用者に合わせた参加方法を設定している。	利用者本人が楽しく自発的に参加出来るような活動内容を模索する。
2	毎月個別の活動報告をまとめご家族に配布している。	日々の活動内容をご家族に発信しこどもの成長を感じてもらえるようにしてます。	今後も継続して子供の活動内容を発信できるように取り組んでいきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の施設や教育機関など地域交流する機会が少なく保護者同士の交流が持てていない。	一部の利用者ご家族からの否定的な意見もあり事業所として積極的に行う事が難しい。	否定的なご家族の意見を尊重しつつ、必要な情報交換が行える方法を模索する。
2	家族支援プログラムに課題がある。	家族支援プログラムを継続して実施するための担当者や時間確保が難しく、要望があるご家族を中心に行っている。	時間的な制約を考慮しつつ、短時間でも実施できる方法を模索する。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	ステップ		公表日 2026年1月26日					
			利用児童数 31			回収数 23		
		チェック項目	(はい)	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2		1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	22			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22			1	週に1回決まった日の利用だけなので別日がわからない	利用日以外の活動内容を告知を行う
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1	4	13	必要ないと思っている	今後の検討課題とさせて頂きます
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	4	7	11		保護者の方らの依頼等があれば検討させていただきます
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	11	8	必要ないと思っている	保護者の方らの依頼等があれば検討させていただきます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1		1		

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	5	2	7		行事予定等ホームページに掲載していますが、ご家族への周知を行います。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			2		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			3		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			2		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			2		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	22					
	29 事業所の支援に満足していますか。	22					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ステップ	事業所における自己評価結果				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動する部屋を分けている	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		約児童2人に対して1人の職員配置を行っている	今後も安全に活動できるよう継続していきます
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	バリアフリー化はしていませんが、支援が必要な利用者には対応しております	トイレの前に一部段差がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		定期的に清掃を行い、清潔にすごせるよう努めています	今後も継続して実施していく
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		活動する部屋が2つあり対応可能	今後も継続して実施していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		月に1回支援会議を行い情報交換を行っている	今後も継続して実施していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表を含め日頃から相談や意見を職員間で共有している	今後も継続して実施していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月に1回支援会議を行い情報交換を行っている	今後も継続して実施していく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	外部評価・第三者委員会は設置していない	必要に応じて検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		必要に応じて回部研修を受ける機会を提供している。	今後も継続して実施していく
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		児童の特性に合わせ、本人やご家族の意見を取り入れている	今後も継続して実施していく
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		支援プログラムをホームページに掲載している	今後も継続して実施していく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		月に1回支援会議を行い情報交換を行っている	今後も継続して実施していく
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		月に1回支援会議を行い情報交換を行っている	今後も継続して実施していく
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		年に2回アセスメントをおこない日々の支援計画に反映している	今後も継続して実施していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		定期的に面談やモニタリングを通じて情報を反映している	今後も継続して実施していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	0	7	児童発達支援管理者が作成している	今後の検討課題とする
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎月の集団プログラムを作成している	今後も継続して実施していく

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別支援と集団活動での支援目標を設定している	今後も継続して実施していく
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援前に前回の報告書の確認を行ってから支援に入っている	今後も継続して実施していく
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		7	支援終了後ではなく、支援前に行っている	今後も継続して実施していく
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		報告書を作成している	今後も継続して実施していく
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い必要に応じて適宜に対応している	今後も継続して実施していく
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		ガイドラインにそった内容で支援を行っている	今後も継続して実施していく
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		選択制を取り入れ、自己決定できる環境を整えている	今後も継続して実施していく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		月に1回支援会議には各担当者が参加している	今後も継続して実施していく
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		緊急時の連絡先や、かかりつけ医など契約時に確認している	今後も各関係機関との連携体制を整えていく
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		児童発達支援管理者が行っている	今後も継続して実施していく
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6	児童発達支援管理者が行っている	今後も継続して実施していく
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6	児童発達支援管理者が行っている	今後も継続して実施していく
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		7	現在行われていないが、来年度から取り入れ予定	児童発達支援管理者が更新研修で学んだ内容を取り入れていく
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		7	利用者ご家族からの要望があり行っていない	必要に応じて検討していく
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7	参加ができていない	必要に応じて検討していく
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		報告書を通じて発信しており面談時などで共有している	今後も継続して実施していく
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	児童発達支援管理者が行っている	必要に応じて検討していく
一 般	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に行っている	今後も継続して実施していく
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談やモニタリング時に行っている	今後も継続して実施していく
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		面談時に行っている	今後も継続して実施していく
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		児童発達支援管理者が行っている	今後も継続して実施していく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	ご家族からの要望もあり行っていない	必要に応じて検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		管理やを中心に行っている	今後も継続して実施していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		7	報告書で行っている	必要に応じて検討していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付きのロッカーに保管し持ち出す際の規定を設けている	今後も継続して実施していく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		利用者やご家族に合わせた対応を行っている	今後も継続して実施していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	ご家族からの要望もあり行っていない	必要に応じて検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアル作成済み 職員間の防災訓練は年2回 利用者には毎月行っている	今後も継続して実施していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		各マニュアル作成済み 職員間の防災訓練は年2回 利用者には毎月行っている	今後も継続して実施していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に行っている 変更があった場合は職員間で情報共有している	今後も継続して実施していく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時に行っている 変更があった場合は職員間で情報共有している	今後も継続して実施していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		各マニュアル作成済み 職員間の防災訓練は年2回 利用者には毎月行っている	今後も継続して実施していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		面談時や契約時に説明している	今後も継続して実施していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットや事故報告書を必要に応じて作成し、共有している	今後も継続して実施していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年2回研修を行っている	今後も継続して実施していく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		事業所として規定を設けている 個別の事例での身体拘束は行っていない	今後も継続して実施していく